

(様式3)

平成30年度自己評価表

学校名 湯梨浜町立泊小学校

校長名 山本 洋介 印

1. 学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成

- 学習のきまりを共通理解し、学習規律の確立に取り組む。
- 単元づくりや学習過程を創意工夫し、授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。
- ペア学習やグループ学習や情報機器の効果的な活用方法を工夫する。
- 校内授業研究会を充実し、授業力の向上を図る。
- 少人数指導を生かし、個に応じた学習指導を進め、基礎学力の定着を図る。
- 外国語活動・外国語を推進し、外国語への興味・関心を高める指導に取り組む。
- 家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の習慣化を図る。
- 図書館の活用を推進するとともに、読書の習慣化を図る。

(2) 潮風の中でたくましく生きる心と体の育成

- 基本的な生活習慣の大切さについて教育活動全般を通して適宜指導する。
- 道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、思いやり豊かな心を育成する。
- より良い言葉使いのあり方については重点的に指導する。
- 潮風タイム（業間運動）を活用し、目標を持ちながら体力の向上に取り組む。
- 食育を推進し、健康な体づくりに関心をもたせる。

(3) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり

- 総合的な学習の時間を活用し、体験的な学習活動を積極的に取り入れる。
- 地域の施設や外部人材を活用し、特色のある教育活動とふるさと教育を推進する。
- 学校だより、学級だよりを創意工夫し、積極的に情報を発信する。
- ホームページを活用し、旬な情報を発信する。

3. 年度当初の評価項目

評価項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価方法
<p>○わかる授業の創造と確かな学力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科の研究指定（3年間）に取り組む、授業改善に取り組むことができた。算数科での授業改善を国語科への取り組みにいかしたい。 ・児童の個々の課題を把握し、基礎的、基本的な学習内容が定着している児童もいるが、十分ではない児童もいる。 ・自分の考えを進んで発表しようとする児童の姿が増え、自主性が段々高まっている。 ・外国語活動に意欲的な児童もいるが、会話を苦手としている児童もいる。 ・家庭学習の習慣化が、まだ十分なされていない児童がいる。 ・読書への関心の薄い児童の意識をなかなか変えられず、本を持ち帰って読む習慣が身につけている児童と身につけていない児童の差ができていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科の校内授業研究会が充実し、授業力を高めることができる。進んで自己研鑽に努めている。 ・基礎的、基本的な学習内容が定着し、意欲的に学習に取り組むことができる。 ・課題を自力で解決し、自分の考えを進んで発表し合い、わかりやすく伝え合うことで、一人一人の考えを深めていくことができる。 ・外国語活動に興味・関心を持ち、進んで会話を楽しむことができる。 ・家庭学習の習慣を身につけ、自ら学ぶ力を高めることができる。 ・図書館を活用し、読む楽しさを感じながら読書の習慣を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会をより充実させて、個々の授業力の向上をめざす。 ・県内、県外の研究会に積極的に参加し研修を深める。 ・個に応じた学習指導を進め、基礎学力の定着を図る。 ・情報機器の効果的な活用を工夫する。 ・話し合い高め合う学習スタイルや定着した学習規律を継続させる。 ・ねらいに沿った発問を工夫したり、思考力を深める場面をつくったりする。また、ペア学習やグループ学習の使い方も工夫していく。 ・外国語活動・外国語の授業で指導者が、意識すべきところを共通理解しながら、全体で進める。 ・家庭学習の手引きを活用するとともに、家庭学習がんばりカードの取り組みを継続させていく。 ・朝読書の時間を充実させたり、図書館の活用を積極的に行ったりすることで、児童の読書の習慣化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習指導と観察 ・児童の学習自己評価 ・学習アンケート ・学校一斉公開アンケート ・保護者アンケート ・学校運営協議会委員会評価結果 ・教職員による教育反省 ・校内授業研究会の取り組み状況 ・N R T等の学力検査結果 ・家庭学習と読書の取り組み状況 ・図書館を活用した授業の実施状況

<p>○潮風の中でたくましく生きる心と体の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣アンケートで自分の生活を振り返ることで、意識できることが増えている。 言葉遣いがよくなってはいるが、教員のいるところと、いないところでの差がある。 具体的な目標を設定して、自分の体力を向上させようと意識して取り組む児童が増えている。 食の大切さは理解しているし、食育について関心のある児童が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 元気なあいさつができ、聞こえる声ではっきりと返事ができ、時間を守るなどの基本的な生活習慣が身につけている。 言葉遣いに気をつけて、思いやりのある言動を行い、学級の仲間とより良い人間関係を築くことができる。 自分で、具体的な目標を設定し、体力の向上をめざして毎日の活動に取り組むことができる。 食育に関心を持ち、健康な体づくりに取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の大切さについては、あらゆる場面を捉えて適宜指導する。 道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、自他を大切に、思いやり豊かな心を育成する。 良好な人間関係を築くために欠かせない言葉遣いの指導については重点的に指導する。保護者への協力依頼（通信、懇談等） 潮風タイム（業間運動）を活用し、自己目標を設定しながら、体力の向上に取り組ませる。 栄養主任の指導や委員会の活動での取り組みを継続し、食育を推進し、健康な体づくりに関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活指導と観察 くらしのアンケート hyper-Q Uの結果 道徳教育、人権教育、特別支援教育の取組状況の振り返り 「特別の教科 道徳」での児童の発言の変容 学校一斉公開アンケート 保護者アンケート 学校運営協議会委員会評価結果 具体的な設定目標の達成度 教職員による教育反省 新体力テストの結果 家庭学習の取り組み状況 食育の推進状況の振り返り 体育授業の実施状況
<p>○ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとを誇りに思う児童もいるが、ふるさとの良さや伝統文化に関心のない児童もいる。 学校だより、学級だより、ホームページを活用し、学校の様子や情報を積極的に発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと泊小学校の教育環境の素晴らしさに気づき、誇りに思い、母校を愛することができる。また、地域の方への感謝の気持ちを深める。 学校だより、学級だより、ホームページを創意工夫し、保護者や地域に積極的に情報を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間を活用し、体験的な学習活動を積極的に取り入れる。 地域の施設や外部人材を活用し、特色のある教育活動とふるさと教育を推進する。 学校だより、学級だよりを創意工夫し、積極的に情報を発信する。 ホームページを活用し、旬な情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習や体験活動の取り組み状況の振り返り 学校一斉公開アンケート 保護者アンケート 学校運営協議会委員会評価結果 学校だより、学級だよりの発行状況 ホームページのアクセス状況